

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	千葉経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チバケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ I
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	虎井 美也子・非常勤講師
基本情報	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	32
	受入企業等数	76
	受入企業等名	SMBC日興証券、京業会計事務所、ジャックアンドビーンズ、袖ヶ浦市役所、ダイヤコーポレーション、高橋会計事務所、千葉県経営者協会、千葉県文化会館、千葉市生涯学習センター、千葉商工会議所、千葉中央会計事務所、千葉トヨペット、千葉労働局、トーコンホールディングス、フレスコ、MAXISエデュケーション、リソル生命の森、他
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	・実習先企業での事業イベントの企画運営補助・配属部門先の社員の方に同行・採用担当者の目線体感プログラム、等
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 9.その他
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	当該インターンシップは、前期に事前学習を行い、夏季休業期間中に実習と事後学習を実施している。
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2・3年次生を対象に、夏季休業期間中の5日間以上のインターンシップを組み合わせたキャリア支援科目「インターンシップ I」として実施している。本科目では、学生の主体的取り組みによる自らの課題認識と目標設定を行い、インターンシップでの実践を通して職業観の育成や専門分野への理解を促す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	働くことに関する心構えや、企業が新卒者に何を求めているのかについて正しく理解し、今後の学生生活の過ごし方を意識できる授業と、社会問題についての認識を深めることを目的とした課題を毎回行っている。

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全15回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解(第1回)、自己分析による課題の認識(第2・3回)、インターンシップ中に挑戦する課題に対する目標設定(第4回)とともに、企業研究(第6回)を行い、企業への応募前に授業担当教員以外の所属コース教員からセカンドオピニオンを受けること(第7回)やビジネスマナー研修・インターンシップ中のリスクマネジメント(第15回)等を実施している。その他すべての講義を通じてグループワーク等を用いて企業の考え方や社会人としての振る舞いについて考察させる。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	就業体験と自らの学びがどのようにつながったのかを振り返る目的で、インターンシップ後のグループワークや個別ワークを通して個人で設定した行動目標の達成度を評価し、参加目的ごとに編成したチームによる報告会を企業担当者を招いて実施している。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「社会人基礎力チェックシート」等を用いて、学生のインターンシップ前後の変容を客観的に把握し、学生の自己理解を促す。また、事前学習にて実習先で実践を試みる可視化した行動目標を立て、事後学習時に達成度合いを自己評価させる。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間のべ5日間
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	例1:地元の中小企業において、5日間のインターンシップを行っている。例2:マイナビ・リクナビ等のナビサイト経由による自由応募や地元の経済団体の加盟企業において、1～3日間のインターンシップを行い、組み合わせで計5日間以上のプログラムとして実施している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	大学から研修の趣旨・研修内容についての要望を提示し、企業が研修概要として回答し実施している。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学から教育的側面に則った研修の趣旨等についての要望を事前に送付し、それに基づいた研修概要を企業が作成している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?cdga=1&nendo=2018&cdisl=4440
問い合わせ先	大学等名	千葉経済大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	インターンシップ担当講師
	担当者氏名	虎井 美也子
	電話番号	043-253-9928
	メールアドレス	career@cku.ac.jp